

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立長居小学校の結果

～分析から見てきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	住吉区
学 校 名	大阪市立長居小学校
学 校 長 名	長谷川 光洋

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立長居小学校では、第6学年 117名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市内立長居小学校の結果概要

本校の全国学力・学習状況調査の結果は、国語・算数ともに大阪市平均と同程度となりました。全国平均と比較すると、国語は1.9ポイント、算数は0.4ポイント下回る結果となりました。また、無回答率については、国語で大阪市平均を0.4ポイント、算数で1.0ポイント上回りました。今後は、これまでの学習指導の取組を生かしながら、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、自分の考えを表現したり、根拠をもって説明したりする学習を充実していきます。また、学習の途中で分からないことをそのままにせず、最後まで粘り強く課題に取り組む力を育ててまいります。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

「（１）言葉の特徴や使い方に関する事項」においては、正答率が大阪市平均を2.9ポイント下回りました。一方、「（２）情報の扱い方に関する事項」では、大阪市平均を4.5ポイント上回りました。情報を適切に扱うことについては良好な結果が見られましたが、言葉の特徴や使い方についての理解を深め、学習や日常の場面で適切に活用することに課題が残りました。

【算数】

「A 数と計算」においては、正答率が大阪市平均を0.9ポイント上回りました。「B 図形」では2.6ポイント、「C 変化と関係」では2.4ポイント下回る結果となりました。数や計算については概ね良好な結果が見られましたが、図形の性質や数量の関係を捉え、根拠を明らかにして考えることについて、引き続き指導の充実が必要です。

質問調査より

児童質問紙調査では、多くの質問項目において、肯定的な回答の割合が大阪市平均及び全国平均を上回りました。学習や学校生活について、児童が前向きに捉えていることが結果に表れています。また、友達と関わりながら学習したり、自分の考えをもって課題に取り組んだりするなど、日頃の学校生活を肯定的に受け止めている児童が多いことも、本校のよさの一つと考えています。今後も、こうした児童の意識を大切にしながら、一人ひとりが安心して学校生活を送り、意欲をもって学習に取り組めるよう、日々の授業や学校生活の充実に努めてまいります。

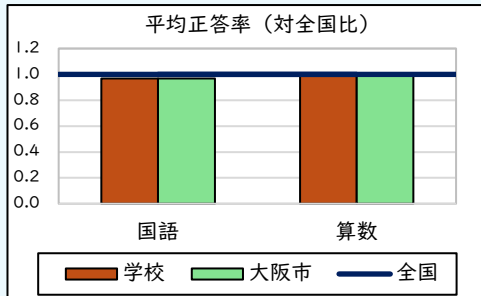
今後の取組（アクションプラン）

今後も、児童が学習の中で「分かった」「できた」と実感できる授業づくりを進めてまいります。基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けるとともに、学んだことを活用して考えたり、自分の考えを言葉や図などで表現したりする活動を大切にします。また、児童が課題に粘り強く取り組み、学習を振り返りながら次の学びにつなげられるよう、授業の進め方や学習場面を工夫していきます。児童質問紙調査では、学習や学校生活について肯定的に捉えている児童が多いことが分かりました。このよさを大切にしながら、一人ひとりが安心して学び、自分の成長を実感できる学校づくりに、教職員が一体となって取り組んでまいります。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

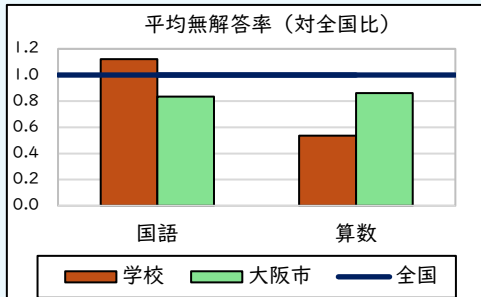
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	59	56
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



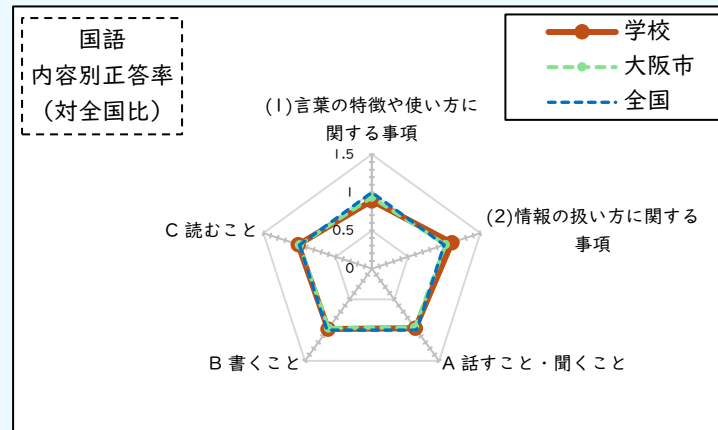
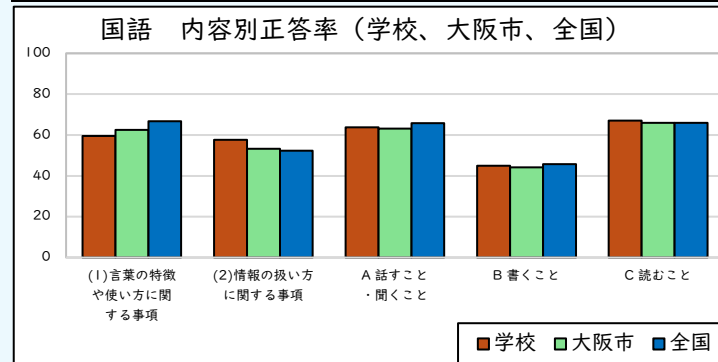
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.8	1.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



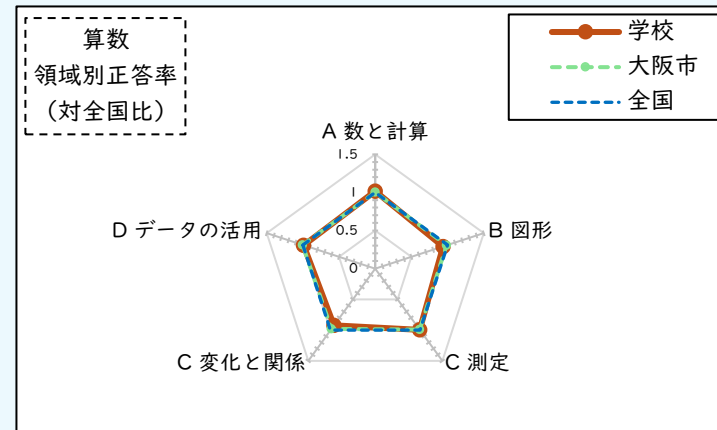
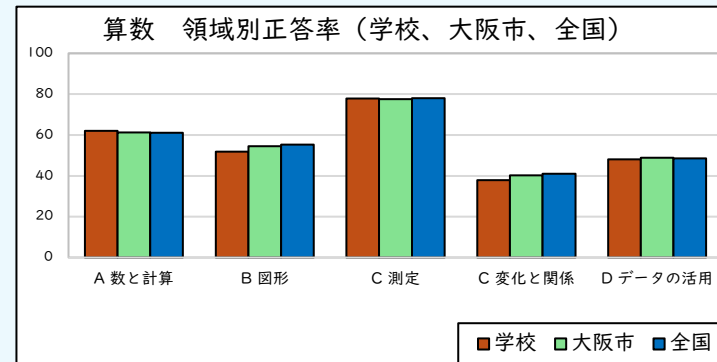
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	59.6	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	57.7	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	63.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	44.9	44.2	45.7
C 読むこと	2	67.1	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	62.1	61.2	61.1
B 図形	4	51.9	54.5	55.3
C 測定	1	77.8	77.5	78.1
C 変化と関係	3	37.9	40.3	41.1
D データの活用	4	48.1	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

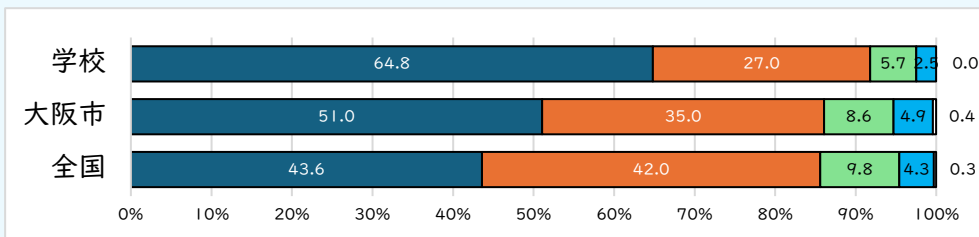
1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

質問事項

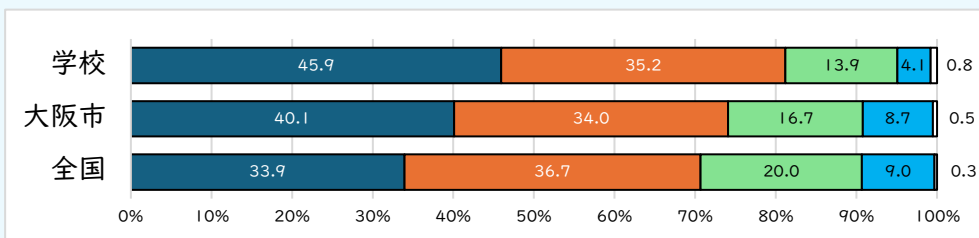
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



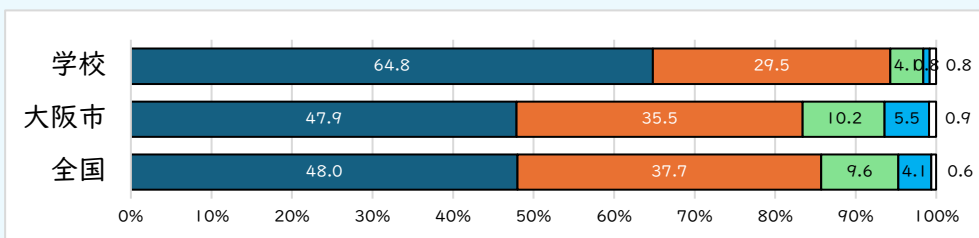
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



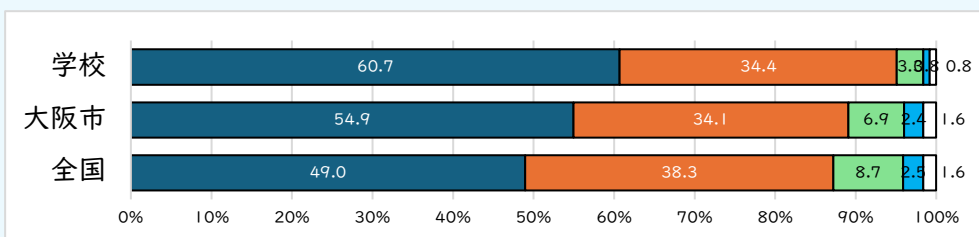
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



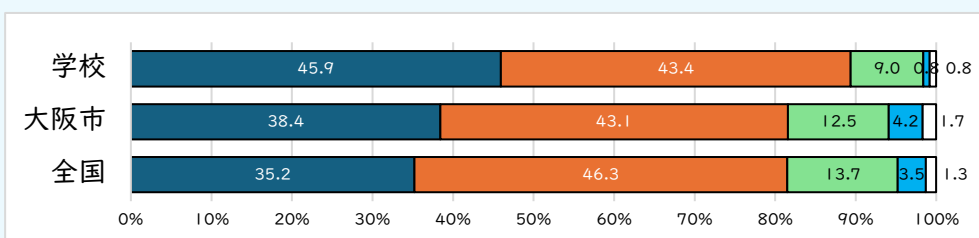
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(45) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(49) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

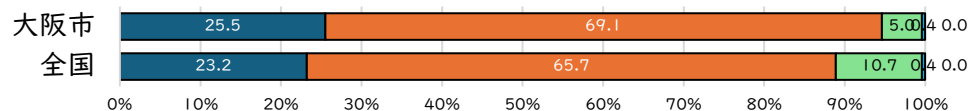
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

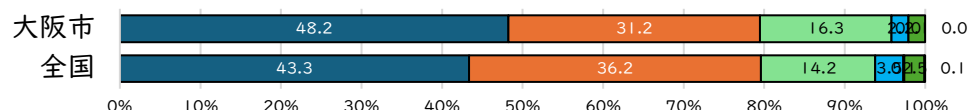


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(14)

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

【学校の回答】 1 週に1回程度、または、それ以上行った

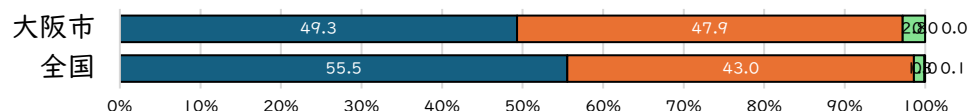


- 1 週に1回程度、または、それ以上行った
- 2 月に数回程度行った
- 3 学期に数回程度行った
- 4 年に数回程度行った
- 5 行わなかった
- 6 特に問題を抱えていなかった

(54)

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

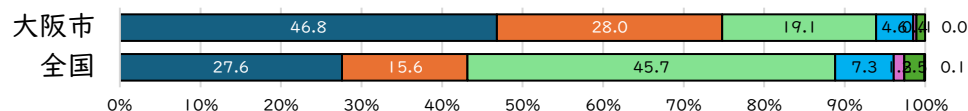


- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった

(67)

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

【学校の回答】 1 毎日持ち帰って、毎日利用させている

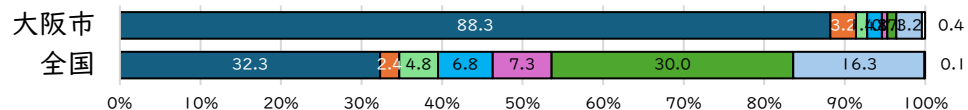


- 1 毎日持ち帰って、毎日利用させている
- 2 毎日持ち帰って、時々利用させている
- 3 時々持ち帰って、時々利用させている
- 4 持ち帰らせていない
- 5 持ち帰ってはいけないこととしている
- 6 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている

(70-5)

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。
(5) 児童の心身の状況の把握

【学校の回答】 1 ほぼ毎日



- 1 ほぼ毎日
- 2 週3回以上
- 3 週1回以上
- 4 月1回以上
- 5 月1回未満
- 6 活用していない
- 7 該当する児童がいない